MAJ-253G　AW87　2018年6月1日発行
MAJ253G

LIXIL

スカイシアターTT手動型〈遠隔操作用ユニット〉　取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠警告…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠警　告

●遠隔操作ユニットやリング、ハンドルの外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。
・この取付け説明書の組合せ以外での使用は行わないでください。
・軸受け間には必ずユニバーサルジョイントを2個使用してください。
・本製品の取付けは、必ず指定のねじで取付けてください。
・軸受けの固定ねじは必ず、下地材があるところに固定し、取付け後、ゆるみやガタツキのないことを確認してください。
・延長ユニット 六角シャフトの切断の際は、出荷段階で加工されている両端末の下穴が各々に残るようにして使用してください。
　また、六角シャフトの切断側にはユニバーサルジョイントを固定する個所にφ4.5の下穴をあけてください。
・ユニバーサルジョイントに仮固定されている固定ねじとオペレーター・六角シャフト・六角軸付きリング下穴位置と向きを合わせ固定してください。
・本製品の取付けは2.5 ～ 3.0N･mのトルクで締め付けてください。

■製品姿図及び部品一覧表

⚠警　告

●この取付け説明書の組合せ以外での使用は行わないでください。遠隔操作ユニットやリング、ハンドルの外れ・落下の原因になります。

⚠警　告

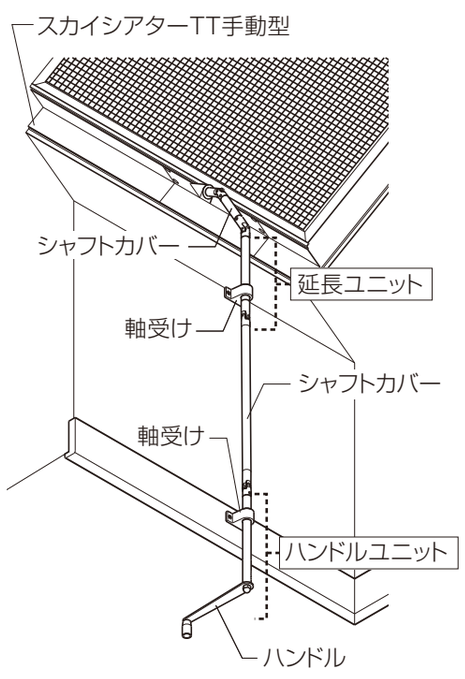
●軸受け間には必ずユニバーサルジョイントを2個使用してください。遠隔操作ユニットやリング、ハンドルの外れ・落下の原因になります。

遠隔操作用ユニット

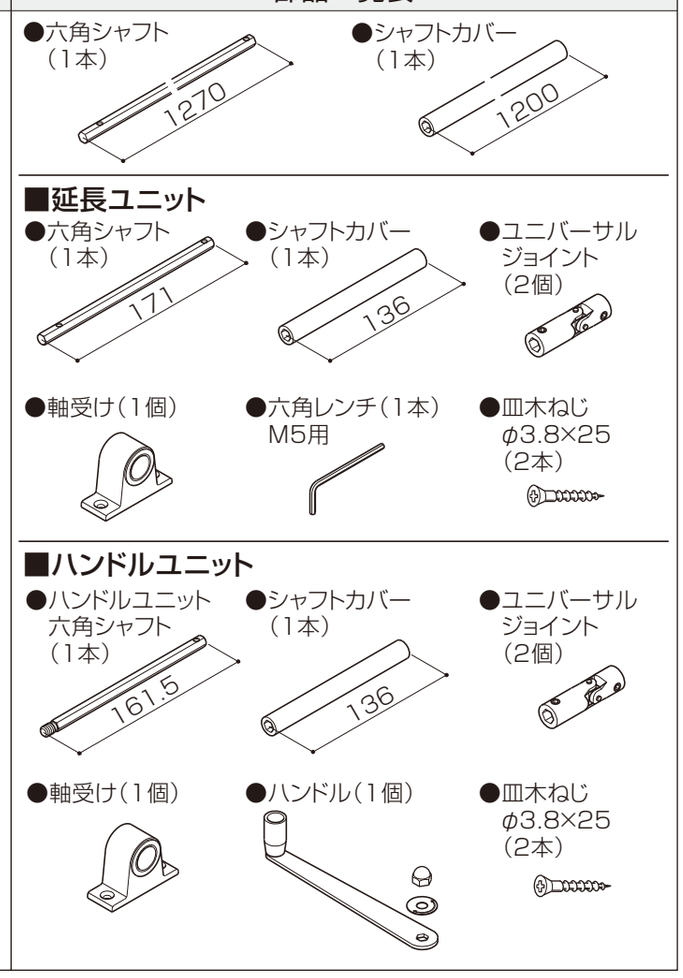
直接手で操作できる場合

天井取付型ハンドル　ESZZF002（2010年2月まで）Z-02-EAEF（2010年3月から）

姿　図



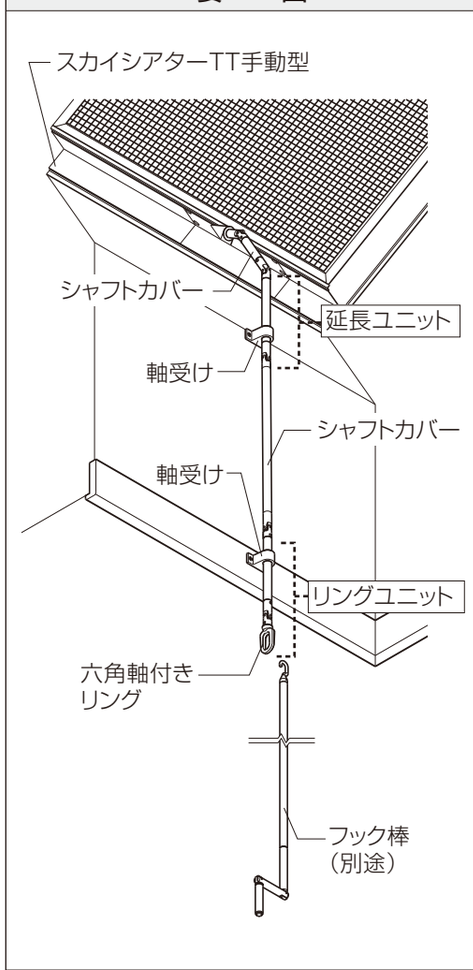
部品一覧表



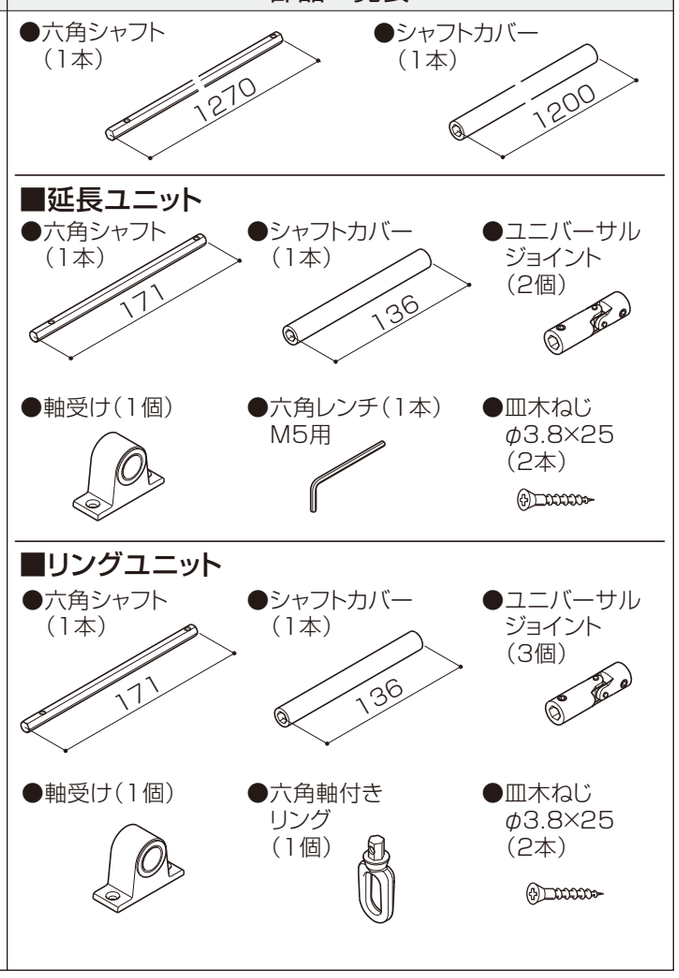
手が届かない場合

フック棒延長ユニット　ESZZG002（2010年2月まで）Z-04-BXAX（2010年3月から）

姿　図



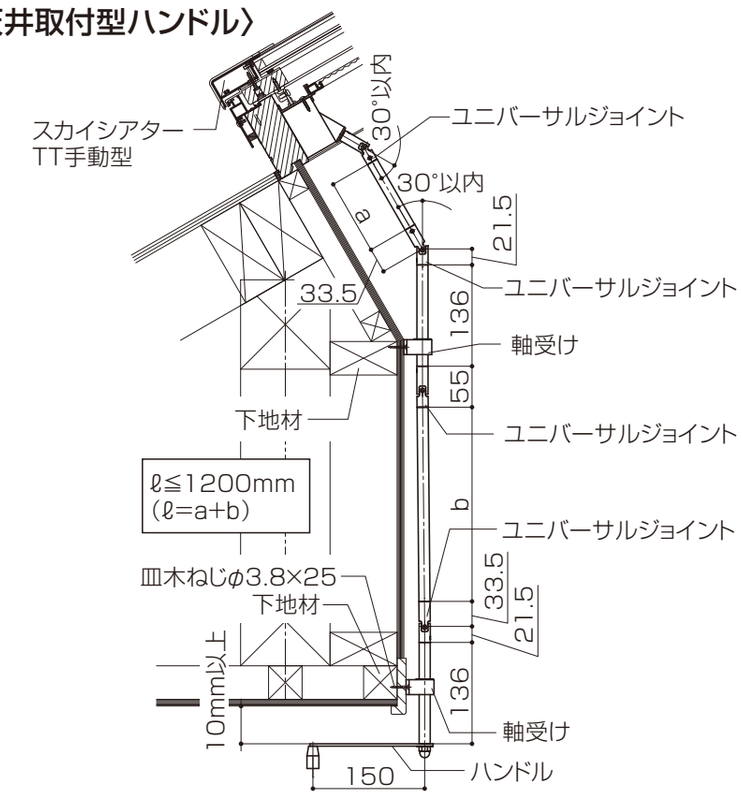
部品一覧表



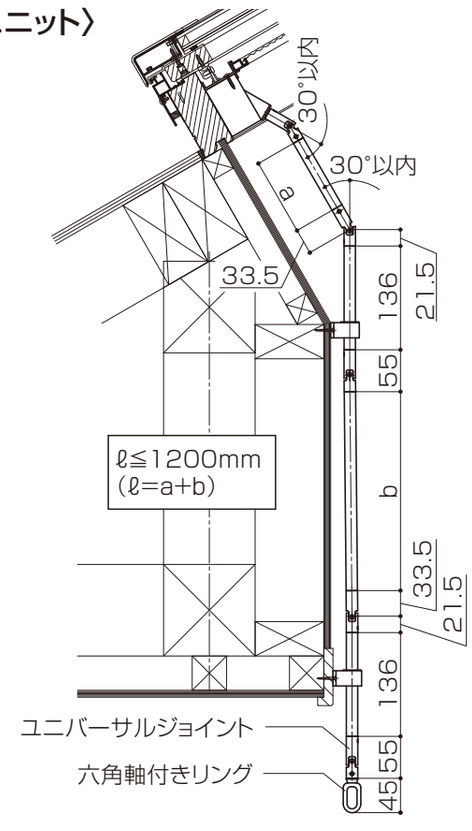
■取付け上のお願い

●ユニバーサルジョイントの折れ曲がり角度は、30°以内にしてください。
　30°より大きくなると作動できません。
●六角シャフト・シャフトカバーは、切断後、切り口をやすりがけしてください。
　バリなどがあるとスムーズに回転しない場合があります。
※右図a部・b部に使用する六角シャフト・シャフトカバーは、部品箱在中の物を切断してください。
●この商品は、スカイシアターTT手動型遠隔操作用ユニットです。
●ハンドルは天井から10mm以上離してください。（天井取付型ハンドルのみ）

〈天井取付型ハンドル〉



〈フック棒延長ユニット〉

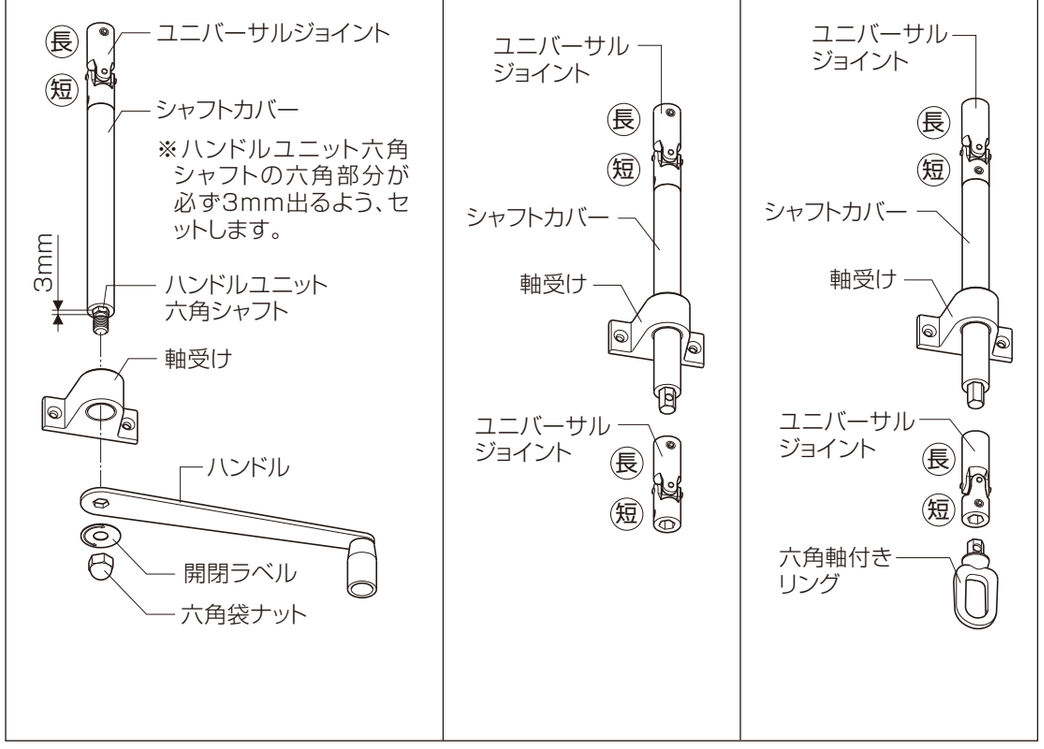


■遠隔操作用ユニットを取付ける前に（ユニット部品の組立てとユニバーサルジョイントの取付け）

1 ユニット部品の組立て

●各ユニットを下図要領で組立てます。
※ユニバーサルジョイントは、長短を向かい合わせて接続します。

ハンドルユニット組立て	延長ユニット組立て	リングユニット組立て
天井取付型ハンドルのみ	天井取付型ハンドル、フック棒延長ユニット共通	フック棒延長ユニットのみ



2 ユニバーサルジョイントの取付け

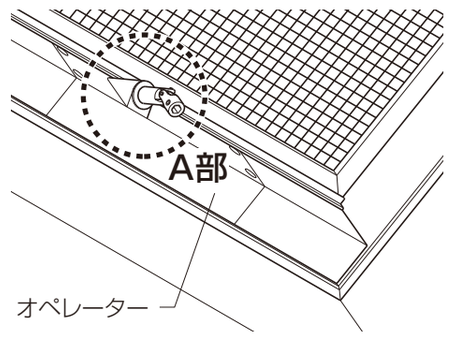
●スカイシアターTT型本体のオペレーターに、ユニバーサルジョイントを同梱の六角レンチで取付けます。
六角ねじが、ユニバーサルジョイントの外形よりも、内側まで差し込まれていることを確認してください。

⚠警　告

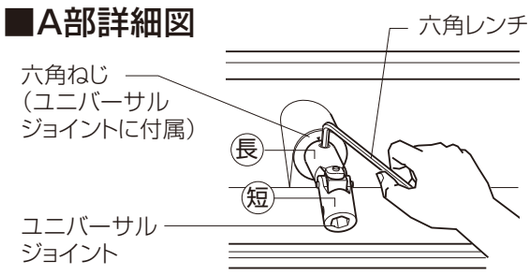
●本製品の取付けは、必ず指定のねじで取付けてください。遠隔操作ユニットやリング、ハンドルの外れ・落下の原因になります。

⚠警　告

●本製品の取付けは2.5～3.0N･mのトルクで締め付けてください。遠隔操作ユニットやリング、ハンドルの外れ・落下の原因になります。

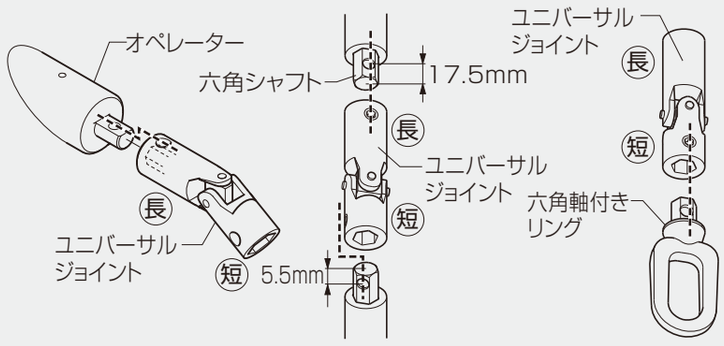


■A部詳細図



⚠警　告

●ユニバーサルジョイントに仮固定されている固定ねじとオペレーター・六角シャフト・六角軸付きリング下穴位置と向きを合わせ固定してください。遠隔操作ユニットやリング、ハンドルの外れ・落下の原因になります。



■取付け順序

1 延長ユニットの取付け

2 六角シャフトの長さ決めと切断

3 シャフトカバーの長さ決めと切断

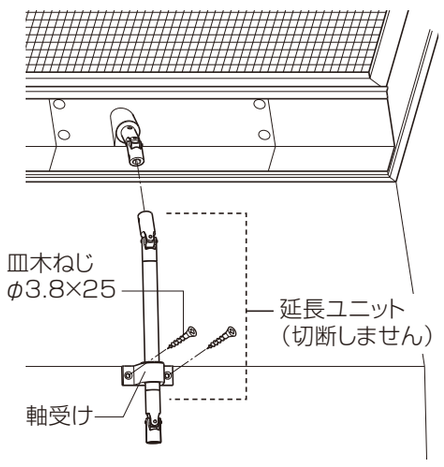
4 六角シャフト、シャフトカバーの固定

5 ハンドルユニット、リングユニットの取付け

■取付け詳細

1 延長ユニットの取付け

①延長ユニットの軸受けの固定位置を決めます。
②軸受けをねじ（皿木ねじφ3.8×25）で固定します。



⚠警　告

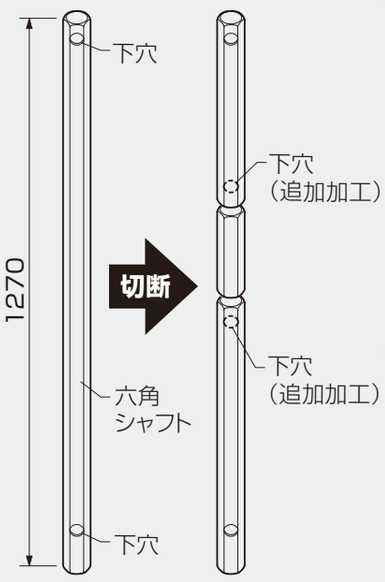
●軸受けの固定ねじは必ず、下地材があるところに固定し、取付け後、ゆるみやガタツキのないことを確認してください。遠隔操作ユニットやリング、ハンドルの外れ・落下の原因になります。

2 六角シャフトの長さ決めと切断

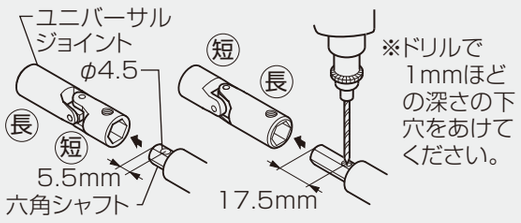
●ユニバーサルジョイントに六角シャフトを差込み、六角シャフトの長さを決めた後、切断します。

⚠警　告

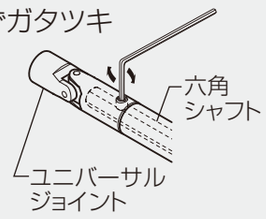
●延長ユニット・六角シャフトの切断の際は、出荷段階で加工されている両端末の下穴が各々に残るようにして使用してください。また、六角シャフトの切断面側にはユニバーサルジョイントを固定する個所にφ4.5の下穴をあけてください。
遠隔操作ユニットやリング、ハンドルの外れ・落下の原因になります。

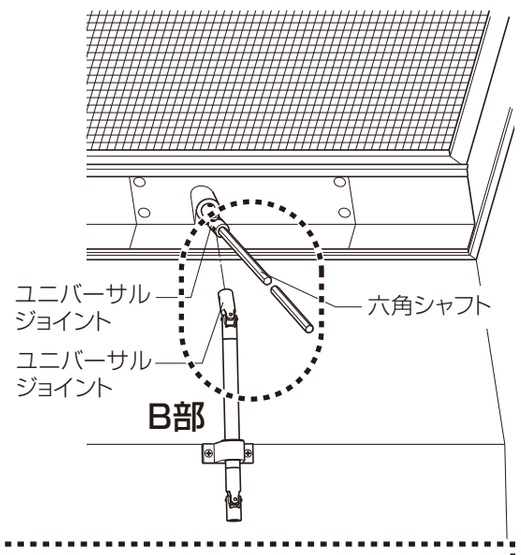


①六角シャフトのユニバーサルジョイントを固定する個所にφ4.5の下穴をあけてください。

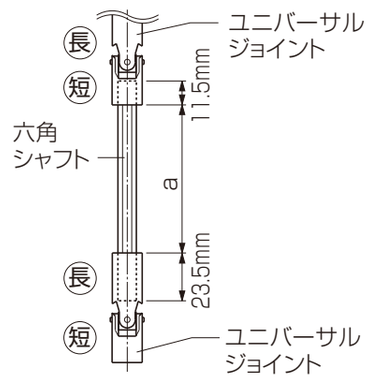


②ユニバーサルジョイントと六角シャフトを固定した後は、必ずガタツキがなく、引っぱって抜けないことを確認してください。



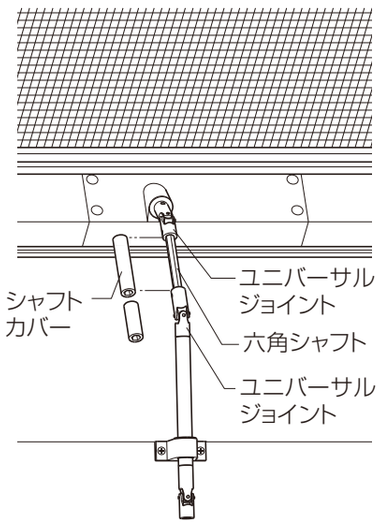


■B部詳細図



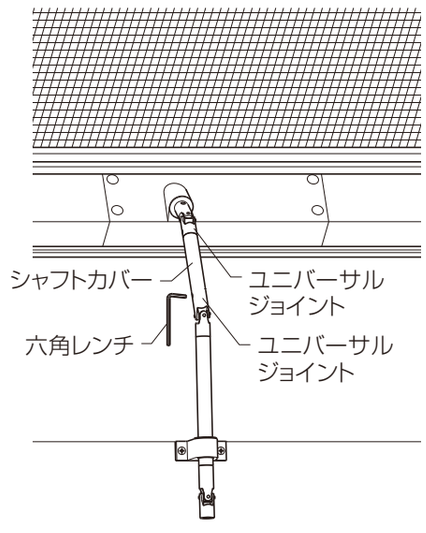
3 シャフトカバーの長さ決めと切断

●六角シャフトをユニバーサルジョイントに差込み、ユニバーサルジョイント間の寸法でシャフトカバーを切断します。



4 六角シャフト、シャフトカバーの固定

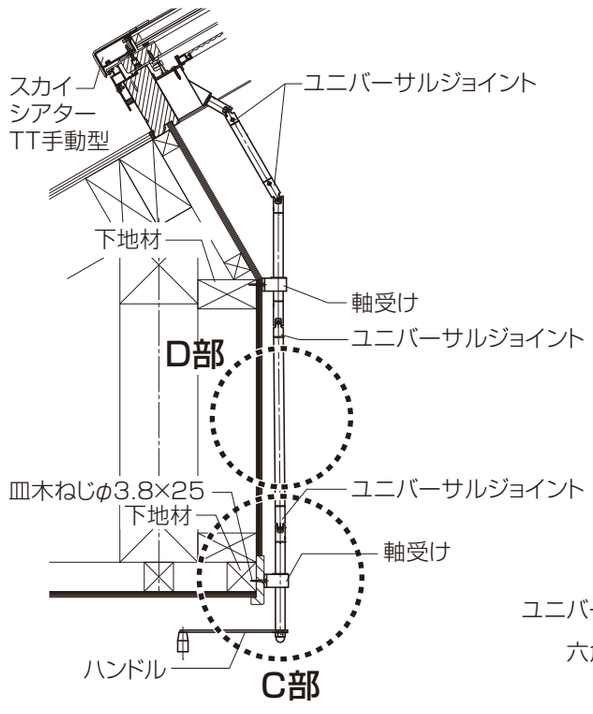
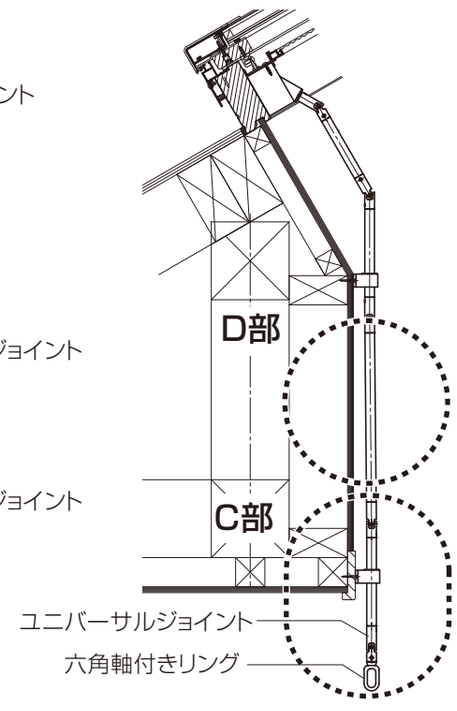
①ユニバーサルジョイントから、六角シャフトを外し、シャフトカバーを差込みます。
②再びユニバーサルジョイントに固定します。その際、六角レンチで六角ねじを締め付けます。
六角ねじが、ユニバーサルジョイントの外形よりも、内側まで差し込まれていることを確認してください。



5 ハンドルユニット、リングユニットの取付け

●（C部）軸受けの固定位置を決め、ねじで固定します。その後、（D部）を同じ要領（2～4）で固定してください。
最後に、作動の確認をしてください。ねじの緩みなどがある場合は、増締めしてください。

〈天井取付型ハンドル〉



〈フック棒延長ユニット〉